



2021

7月

季刊 年4回(1月/4月/7月/10月)発行

第92号

「くおん」についてのご意見、ご感想をお待ちしております

発行・編集：北区教育委員会「くおん」編集委員会
〒114-8546 東京都北区滝野川 2-52-10 TEL.3908-9279
メールアドレス kuon@city.kita.lg.jp

c o n t e n t s

- 1面…王子第一小学校新校舎開設・わくわく王ひろば開設
- 2面…社会を明るくする運動・飛鳥山博物館で北区の魅力発見
- 3面…あいさつ運動・特別支援学級開設・夏休みの図書館
- 4面…保育園紹介・身のまわりで役立つ科学



インターネットでもご覧いただけます

<https://www.city.kita.tokyo.jp/k-seisaku/kosodate/kyoiku/kuon/index.html>



王子第一小学校新校舎が完成します!

整備コンセプト

みんながつながり みんなで育つ 王一小

創立から100年以上、地域とともに歴史を紡ぎ、つながりを大切に、みんな子どもたちを見守り育ててきた王一小の伝統を、未来につなげていくシンボルになるような校舎を計画しました。

「つながり」を生む空間づくり

- ステップホール、なかよしホール
昇降口と体育館を結ぶ大空間を設けました。活発な活動や児童同士の交流を生み出す空間になることを期待しています。

施設の特徴

- 1階普通教室
北区内で初の試みとして教室内に手洗い、下駄箱を設置し、低学年児童の日常生活が教室内で完結する作りとしました。小学校生活の円滑なスタートをサポートします。
- 広い歩道状空地
道路と連続した、桜並木のある広い歩道状空地を整備しました。
- 図書室と和室の連続使用
和室を図書室と一体的に設けることで、読書スペースとしても利用できます。



外観



なかよしホール、ステップホール



教室、廊下

●お問い合わせ● 学校改築施設管理課 ☎3908-9277

放課後子ども

総合プラン

わくわく☆ひろば

わくわく王

ひろば開設

王子第一小学校の新校舎開設にともない、わくわく王ひろばがスタートします。わくわく王ひろばの開設により、北区内35校全ての小学校でわくわく☆ひろばが実施されます。

『わくわく☆ひろば』って何ですか?』

放課後や土曜日、夏休みなどの長期休業中に、小学校の教室や校庭、体育館などを会場に、全児童が安心して過ごせる居場所を提供するため、「放課後子ども教室」と「学童クラブ」を一体的または連携して実施するものです。



●活動内容：自由遊び、体験活動や季節行事、自主学習などを行います。

●対象：原則として当該小学校の児童と学区内に居住する私立小学校等の児童です。参加は登録制で①放課後子ども教室（一般登録）（1～6年生を対象）②学童クラブ（学童クラブ登録）（保護者が就労等で留守になる1～3年生を対象）③学童クラブ特例利用（保護者が就労等で留守になる4～6年生を対象）があります。



●お問い合わせ● 子どもわくわく課 ☎3908-9361

社会を明るくする運動

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

みんなで考え、参加してください

“社会を明るくする運動”は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人の立ち直りについて理解を深め、力を合わせて、犯罪のない地域社会をつくらうとする全国的な運動です。

北区では、保護司会や青少年地区委員会等と一緒に、この運動への理解と協力を広く呼びかけています。

今年度も小・中学生を対象にした作文コンクールを開催したり、地域ごとに、講演会、座談会、街頭パトロール活動等を行う予定です。

犯罪や非行のない安全で安心な暮らしをかなえるために、今何が求められているのか、自分に何ができるのかを皆さんで考えてみませんか。



●お問い合わせ● 生涯学習・学校地域連携課 ☎3908-9323

北区飛鳥山博物館で北区の魅力発見!!



夏の北区飛鳥山博物館は、体験講座がいっぱいの夏休みわくわくミュージアム☆2021や大河ドラマの主人公・渋沢栄一についての展示、さらに、北区の歴史についての展示など、夏休みの宿題に役立つイベントが盛りだくさん!!

この夏は北区飛鳥山博物館で、渋沢栄一と北区の魅力を探しましょう!

3階



夏休みわくわくミュージアム☆2021

—おうちde! 飛鳥山de! 博物館—



〈夏休みわくわく展示〉
「ここがすごいぞ! 渋沢栄一」

NHK大河ドラマの主人公・渋沢栄一について、渋沢栄一ってだれ? 何をした人? 北区とどんな関係があるの? といった疑問に展示で答えます。夏休みの調べ学習や自由研究にも役に立つかも!

〈各種体験講座〉

藍染や勾玉づくりなど北区の歴史を知りながら、親子で一緒に楽しめる体験講座を用意しています。

もし、博物館に来られなくても大丈夫! 北区飛鳥山博物館公式ホームページに、おうちで楽しめる工作の動画やオリジナルぬりえなどを公開します。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、講座を中止する場合があります。

〈キタクイズラリー〉

1階・常設展示室で北区の歴史や文化財を楽しく学ぶクイズラリーをこの期間のみ、特別に開催します!

コン吉と一緒にクイズに答えて、めざせ! 北区博士! 参加してくれた人には、もれなく景品をプレゼント。

2階

ドラマの世界を楽しむ

「渋沢×北区 青天を衝け 大河ドラマ館」

今年の大河ドラマの主人公は、飛鳥山で後半生を過ごした「日本資本主義の父」渋沢栄一。

大河ドラマ館では実際に使用された衣装やメイキング映像を見ることができるほか、「なりきり1万円札」コーナーで自分の顔をお札の肖像風に撮影して楽しめます!

【入場料】大人800円・小中高400円
※区民割引あり(要証明書)。詳細は入場券販売管理センターまでお問合せください。☎(6903)3901



1階

北区の歴史がまるわかり! 常設展示室

常設展示室では、北区の地形や自然、歴史、文化を14のテーマ別に紹介しています。貴重な実物資料はもちろん、実物大に復元した建物などスケールの大きな展示物がたくさん! 夏休みだからこそ歴史の世界をじっくり楽しんでみてください。



入口でこの2人がお出迎え!



荒川河川敷のジオラマは見ごたえたっぷり!

展示室のまん中に縄文時代の丸木舟



ジオラマに住むモグラ?! さが探してみてね。



縄文時代のホンモノのじんこつ人骨も!



江戸時代の花見弁当は超豪華

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体温測定や入場制限などを実施しております。ご了承ください。

●お問い合わせ● 北区飛鳥山博物館 ☎3916-1133

お知らせ くおんでは、目の不自由な方向けに音声テープ版・デジ版・点字版を作成しております。ご希望の方は教育政策課☎3908-9279までご連絡ください。

あいさつ運動

健全な青少年の育成に元気なあいさつは不可欠です。北区では、11月の「子供・若者育成支援強調月間（内閣府主催）」を中心に、青少年の非行防止等に寄与することを目的として、北区と北区青少年地区委員会が主体となって「北区青少年健全育成のための地域環境づくり推進活動（あいさつ運動）」を実施しています。

北区青少年地区協議会では、年間を通じて広く区民の皆様にあいさつ運動を知っていただくため、啓発ポスター、啓発グッズ（ポケットティッシュ等）を作成しています。

今年も啓発ポスターや啓発グッズの図案を募集しています。ぜひ学校を通じてご応募ください。



●お問い合わせ● 生涯学習・学校地域連携課 ☎3908-9323

北区・北区青少年地区委員会
令和3年度あいさつ運動ポスター

王子桜中学校・堀船中学校特別支援学級開設

令和3年4月に北区立中学校初の「自閉症・情緒障害特別支援学級」が王子桜中学校に開設されました。1年ごとの段階的な受け入れを行い、今年度は1年生のみの学級になります。

生徒は第1学年の各教科の学習と自立活動の学習に取り組んでいます。また、生徒一人ひとりの状態に応じて、通常の学級との交流も実施しています。生徒は新しい環境にも少しずつ慣れ、のびのびと学校生活をおくっています。



令和3年4月堀船中学校に北区立中学校で6校目となる「知的障害特別支援学級」が開設されました。4月に行われた「新入生・転入生を迎える会」では、他校の特別支援学級の児童・生徒と交流を図り、学級紹介の際には、いきいきと発表することができました。

日々の学習では、落ち着いた雰囲気の中で、自己の課題に意欲的に取り組んでいます。

●お問い合わせ● 教育総合相談センター ☎3908-1237

さあ、夏休み！

みんなおいでよ 図書館に！

第18回子どもの本のつどい in KITAKU 2021

ぶっくぶっくらんど
～ Book Book Land ～



主催：北区立中央図書館

企画・運営：北区図書館活動区民の会

あなたは、どの島の本を好きになるかな？

「ほのぼの島」「空と海ときみの島」「カラフル島」「ぼうけん島」「ほっとするおはなし島」

それぞれの島のテーマで、小学生の皆さんにおすすめの本を展示します。

あなたのお気に入りの本を、ぜひ探しにきてください！

展示期間：6月25日（金）～9月3日（金）

時間：中央図書館開館時間内（最終日は午後5時まで）

場所：中央図書館2階 こども図書館内レンガの棚

中央図書館2階こども図書館内のレンガの棚で展示しています。図書館に来て、本を手にとってみてください。貸出もしています。本のリストは、持ち帰れます。

●お問い合わせ● 中央図書館 ☎5993-1125



明治から昭和にかけての文豪、彫刻家たちが楽しんだテニス倶楽部「ポプラ倶楽部」の跡地に、田端保育園は建っています。今から8年前、地面の下には何があるのだろうと疑問に思った子ども達もいました。穴掘りに夢中になった子ども達と一緒に園庭の片隅に作った小さなビオトープは、今ではメダカだけでなく毎年カエルが卵を産み付けるようになり、子どもから大人まで、みんなを楽しませてくれています。他にも虫捕りや花の色水作りをしたり、砂や泥のぬくもりに触れたりすると、子ども達は好奇心や探究心を刺激しながら、五感をフルに使って遊んでいます。少し狭い園庭ではありますが、身近な自然に触れながら、子ども達が生きていることの喜びや楽しさを実感できる保育に努めています。

所在地：田端3-24-14 定員：94名（1歳～5歳）



お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター連携企画



身のまわりで
 役立つ科学の話

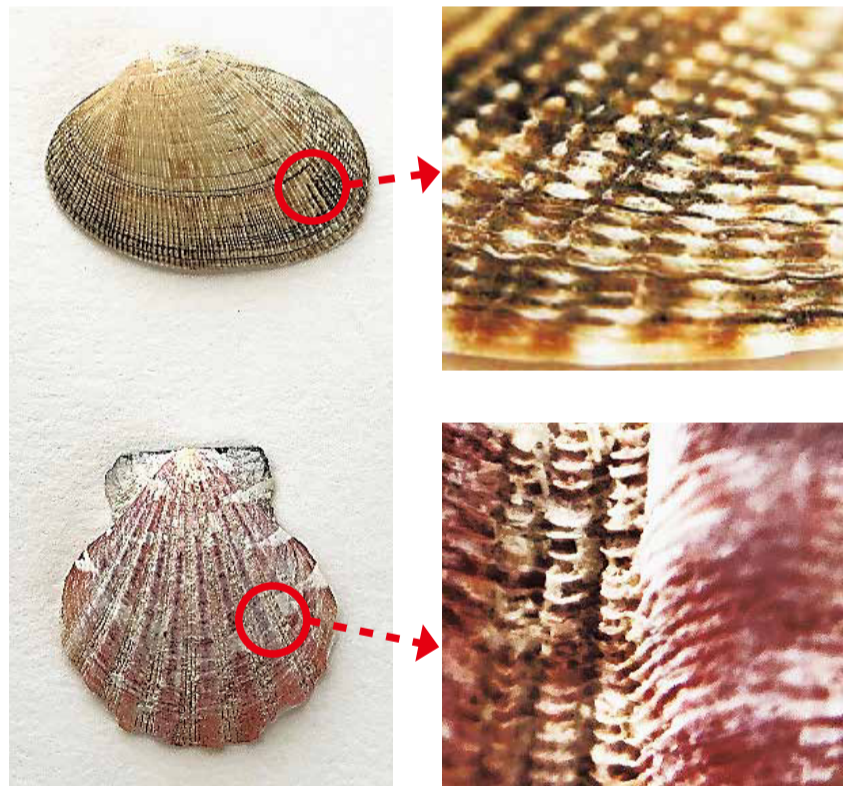
バイオミネラリゼーション

～貝が貝殻やパールを作りだすはたらき～

貝類は外套膜という体の内部を包んでいる柔らかい器官から炭酸カルシウムを主成分とする物質を分泌して、体の外に貝殻を作りだします。アコヤガイなどは真珠質と呼ばれる光沢物質を分泌して、きらきらと輝く貝殻や球の形をした真珠（パール）を作ります。貝が貝殻やパールを作りだすように、生物が硬い組織を作りだすはたらきをバイオミネラリゼーションといいます。バイオミネラリゼーションによって作られるものは、いくつもの層が積み重なった構造になっています（写真）。私たち人間をはじめ背骨をもった動物（脊椎動物）であれば、骨や歯、耳石、魚類の鱗などがその例です。

バイオミネラリゼーションでは、生物は「ミネラル」を用いて、硬い組織（骨や殻など）を作ります。ミネラルとは鉱物のことですが、火山活動などによってできる鉱物とは分けて、生物がつくりだした鉱物を「生体鉱物（バイオミネラル）」といいます。例えば、エメラルドやダイヤモンド、ルビーなどの宝石は「鉱物（ミネラル）」のなかま、珊瑚や真珠（パール）は「生体鉱物（バイオミネラル）」のなかまです。パールの養殖はバイオミネラリゼーションを応用した技術です。今後、SDGs（持続可能な開発目標）の達成を横断的に支える科学技術イノベーションのひとつとして、生物が鉱物を作り出すしくみを使ったさまざまな新素材の開発が期待されます。

（お茶の水女子大学 堀田のぞみ）



貝殻とその表面を拡大したもの（いくつもの層が重なった構造のようす）

＜おん掲載広告を募集しています！！＞

学校・家庭・地域のみなさまに、北区の教育活動の状況を広く周知し、区民のみなさまとともに、「教育先進都市・北区」の実現を目指すことを目的に発行しています。

- 毎年4月・7月・10月・1月発行
- 区立幼稚園や小・中学校、公私立保育園に通うお子さんを持つ各家庭に配布されます。
- 広告掲載料 1枠（縦6.0cm横8.0cm）50,000円

＜わしくは北区HPをご覧ください＞

Q

お問い合わせ 教育政策課 3908-9279

